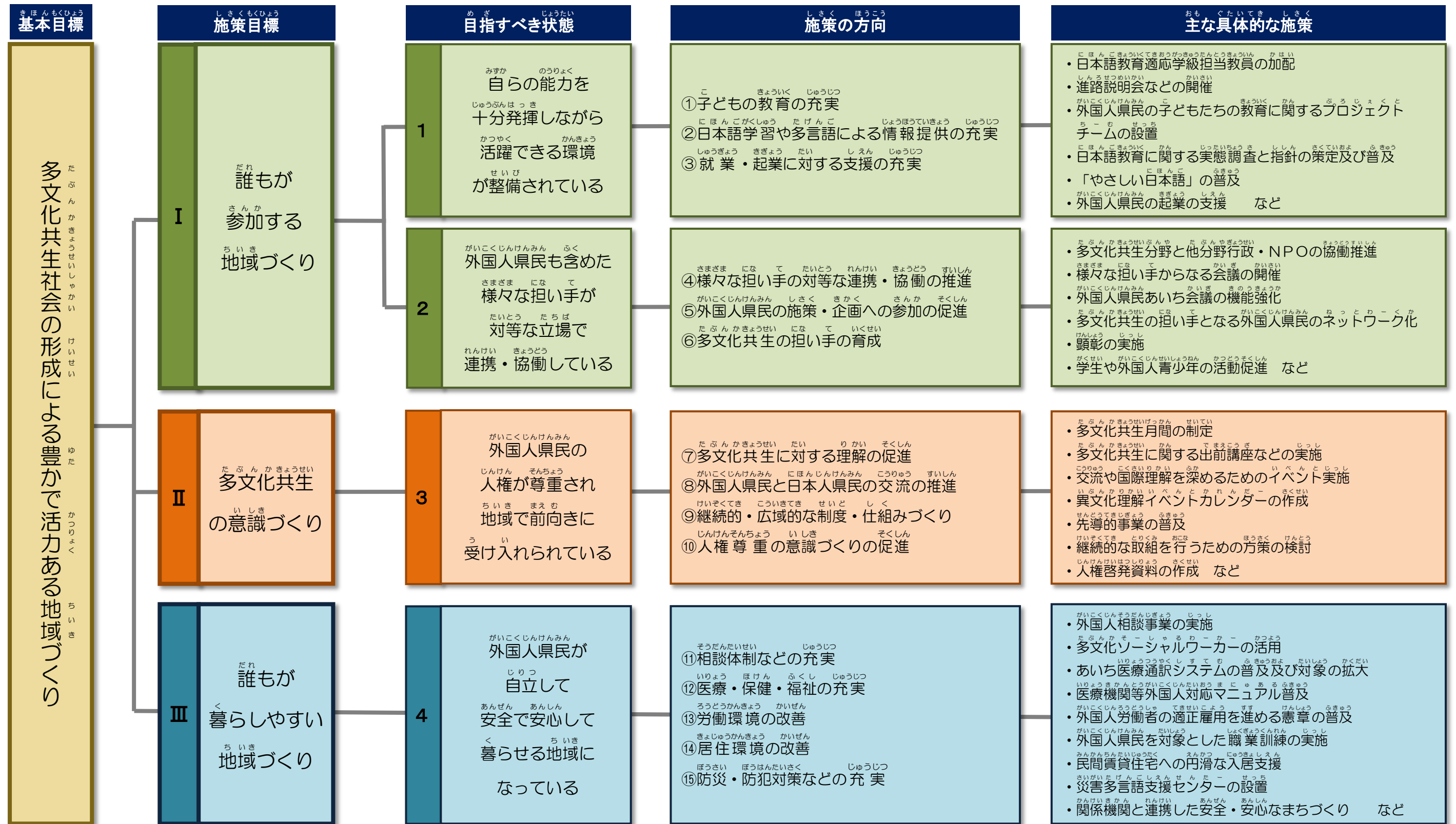


【プランの体系】



施策のポイント

- ✓子どもの教育の充実 ⇨ 外国人県民の子どもたちが小中学校で教育を受ける機会の確保、就学前や高校・大学進学への支援、学齢を超過した子どもたちへの支援、外国人学校の子どもの教育環境の整備、日本社会で活躍している二世世代と触れ合う機会の増加、教員などに対する多文化共生についての理解促進
- ✓日本語教育の体制整備 ⇨ 日本語教育関係機関・団体の経験やノウハウなどを活用して、日本語教育の体制を推進
- ✓様々な担い手との連携・協働 ⇨ 様々な多文化共生の担い手や福祉・教育・防災などの分野との連携・協働
- ✓外国人県民との協働 ⇨ 外国人県民や外国人自助組織が施策の立案・検討・運営に係る仕組みづくり、日本の大学で教育を受けるなど日本で育った外国人青少年の多文化共生の担い手としての育成
- ✓多様性への理解の促進 ⇨ 県民一人ひとりの多文化共生に対する理解と認識の促進、全ての国籍や民族に対する理解の促進と交流
- ✓外国人県民も安心して生活できる社会づくり ⇨ 社会的に弱い立場にならないようにするための就労環境の改善や就労支援、医療・保健・福祉の充実、防災・防犯対策の推進